

- 大学入学共通テスト
「受験案内」配布
- 模試の結果とその活用方法
について

「好きこそものの」

生物科 天海 創

4月に都立城東高等学校から異動してきました、理科(生物科)の天海 創(あまがい そう)です。私にとって新宿高等学校とは、過去に生物の教員の研修会の会場として訪れたことがあり、また都立高校の合同学校説明会で訪れたりもした学校でしたが、何よりも私が生まれたころから(?)ファンとして慕う、ミュージシャンの坂本龍一さんの出身校であるという事が、まず第一に思い浮かびました。余談ですが、実家の父に新宿高校への異動が決まったことを伝えると、「教授(坂本龍一さんの愛称です)の母校だな」と言われました。

さて新宿校生の皆さんにお話しできることは何かあるだろうか…と考えたのですが、なかなか良い話題が思いつきません。なので「好きなこと」について話をさせていただこうと思います。

中学生から高校生にかけて、好きな教科は「数学」でした。特に図形の問題や証明問題を好み、その問題を解くことに楽しみを感じていました。他には読書(ほとんど推理小説でしたが)が好きだったので、国語も苦手ではありませんでしたし、地理も得意でした。肝心の理科はと言うと、内容によって好き嫌いがあり、化学分野や物理分野は得意だったのですが、天文や石などの分野が苦手だったので、第2分野はあまり得意ではありませんでした。

では「生物」は、と言うと、高校での生物の授業で私が生物を習った先生(私は「師匠」と呼んでいます)は、生物特有のとてもマニアックな先生でした。ただその先生に習った生物の深淵に衝撃を受け、興味と関心を持ち、内容の理解と問題を解くことの全てが楽しみになったので、それまでは大学では数学か化学を専攻しようと思っていたのですが、大学で生物を学び続ける事を選択しました。模試の成績では生物よりも数学や化学の方が好成绩でしたが、「好き」なのは生物でした。だから入試では生物を中心に、自分として点数の取りやすい化学や数学も用いながら、某大学の生物専攻の学科へ進学しました。

その後の大学や卒業後の生活においては、それまでの専門科目の他に様々なことに興味を持ちました。ゲーム、音楽、謎を解くこと、将棋、料理などなど。ただそのほとんどが「教師」としての仕事にはほとんど役に立ちません。何しろ教員になろうと思ったのは、大学を卒業した後だったので。でも私自身は現時点で楽しく人生を過ごせていると感じています。

新宿校生の皆さんに伝えたいのは、行事も部活動も受験も全て「人生の中の出来事の一つ」だということです。決してないがしろにはできません。でもそれが全てでもありません。ぜひ高校生活の中で、勉強・行事・部活動や、校内でも校外でもどこでも良いので、「好きなもの」を見つけましょう。それも一つに限らず、たくさん。そうするとより幸せな人生を歩めるのではないかと思います。私が願っているのは生徒の皆さん一人一人が幸せな人生を歩いていってくれることだと思っていますし、その手助けをするのが私の仕事だと思っています。よろしくお願いします。

○大学入学共通テスト『受験案内』配布

3年生全員に9月9日(水)の学年集会で大学入学共通テストの説明を行い、『受験案内』(志願票)を配布しました。

今後の出願に向けての流れや志願票の書き方、その他諸注意がありました。その際に重々注意があったのは、「大学入学共通テストに関することはすべて、『受験案内』に書かれている」ということです。自己判断したり勘違いしたりすることのないよう、すみずみまで熟読して、間違いの無いよう、注意して準備してください。

〈今後の流れ〉

9月28日(月)「志願票」発送(学校一括)

10月下旬に「確認はがき」到着

12月中旬に「受験票」到着

○3年 出願資料請求について

大学入学共通テストの出願は学校が一括して行いますが、その後の国公立二次、および私大入試の出願は各自が個人個人で行います。募集要項や願書なども自分で取り寄せてください。

今後の受験に向けた準備は、すべて自分で行動・管理していく必要があります。注意しましょう。

○模擬試験の結果について

夏休み前に実施した進研模試(1、2年)、駿台マーク試験(3年)の結果が戻ってきました。模擬試験は、自分の勉強やその結果である実力をはかる機会となります。受けっぱなしにするのでは受験料が無駄になってしまいます。弱点発見、思考力・答案作成力を磨くためにも、復習にぜひ時間をかけてください。

1年生

は高校に入って初めての本格的な模擬試験でした。

全体として、数学はよくできていました。英語、国語も例年並みです。休業期間がありましたので、今年は得点だけにこだわる必要はありません。それよりも、問題をもう一度じっくりと解き直し、分からない箇所をあぶりだしましょう。設問別に自分の弱点を把握し、今後活かすことが重要です。復習をしない「解きっぱなし」には何の意味もありません。しっかり振り返りを行いましょう。

2年生

は、休業期間もあり、なかなか思うように得点できなかったようです。何が原因なのかよく考えて、次回11月の模試に向けて準備してください。高校生活もいよいよ後半に入ります。生徒活動発表会は無事終了しましたが、2年生はまだまだ部活動や行事の中心学年として、ますます忙しい日々が続きます。時間と体力とを上手にやり繰りして、学習時間をしっかり確保しましょう。

3年生

「駿台マーク模試」を受験しました。この模試は全国の有名進学校が中心に参加する模試ですので志望校の合否判定では厳しい結果が出ているかもしれません。が、今は判定を気にする時ではありません。昨年この模試のE判定から合格に届いた先輩が何人もいます。

逆に、このテストで高得点をとれた人は自分の学習に自信を持って進んでいけばよいということです。気を抜かずに努力を続けましょう。

○模擬試験は3回解く

1回目(受験日)

2回目(受験後)

解答・解説を使って、自己採点を行います。「できたところ」「できなかったところ」、ミスした原因などを、確認・復習し、今までの学習を振り返りましょう。もちろん、勉強不足を感じたら、具体的に勉強方法を改善しましょう。

3回目（返却時）

特に記述問題について、自己採点とのズレを確認しましょう。改めて、できなかった問題を復習します。2回目に復習した箇所が、今回は解けているか、前回の復習やその後の学習が定着しているのか、確認しましょう。個人成績表をもとにして、多くの受験生が得点に結びつけている問題を確認するとともに、自分の弱点を分析しましょう。

○一刻も早く「受験生」に

「受験0期」という言葉を知っていますか？2年生の冬を、受験学年である3年生にさきがけて、そう呼びます。皆さんの教室にもある『蛍雪時代』（旺文社）のデータによると、志望大学合格者の49%が、3年生になる前に受験勉強を始めています。そして、3年生の4月には69%の人が受験勉強を始めています。

注意してほしいのは、受験勉強と学校の授業は「別物ではない」ということです。授業の予習・復習という日ごろの勉強に、受験を意識した自主的な勉強を加えていきましょう。今自分が何をすべきなのか迷っている人は、各教科担当の先生に積極的に相談してください。受験情報の収集も含め、今できることはたくさんあります。

国公立大学入試対策会（予告）

9月30日（水）に、3年生を対象に「国公立大学入試対策会」を実施します。河合塾から講師の先生を招き“国公立大学合格に向けた最新入試情報と受験勉強のポイント”を中心とした講演会です。

受験勉強で時間が惜しい3年生ですが、この会の話は聞く価値が大あります。国公立大をめざす人はもちろん、それ以外の人も是非参加してください。

◇今後の予定

- 9/24 木 健康診断
- 9/30 水 前期終業 避難訓練 大掃除
国立大入試対策会（3年）
- 10/1 木 都民の日（休業日）
- 10/2 金 後期始業
- 10/4 日 開校記念日 実力テスト（3年）
- 10/12 月 後期中間1考査（3年）
- 10/13 火 ~ 16 金 後期中間1考査
- 10/24 土 学校説明会①

グローバルで活躍するためのヒント —国際機関40年の経験から

早稲田大学非常勤講師
国際電気通信連合標準化部門 議長

21 回生 津川清一

高校2年の夏に新宿高校に編入学しました。新宿高校には第2外国語の授業があると聞いていたので、とても楽しみでした。入学してさっそくフランス語の授業を取りました。

大学は、そのころ神田駿河台にあった中央大学に入学しました。ちょうど大学紛争が激しかったころで、しょっちゅう学校が封鎖されていました。フランス語の勉強を続けたかったので、これ幸いと近くのアテネ・フランセや日仏学院にせっせと通いました。

就職は、外国語が好きだったからでしょうか、国際通信を扱う国際電信電話株式会社(KDD)に入社しました。そして、フランスのディジョン大学に留学させてもらいました。留学前にずいぶんフランス語の勉強をしたつもりでしたが、現地でラジオを聞くと最初全くわかりませんでした。しかしわからないのを我慢して聞き続けたところ、ある時ふっと少しわかる気がしました。なんでもそうでしょうか、外国語の勉強も毎日小さな、小さな積み重ねを続けると、突然大きな飛躍が来ることを実感しました。

私が初めて国際会議に参加したのは、32才の時でした。国連の専門機関である国際電気通信連合(ITU)といって、1865年に設立された世界で1番古い国際機関です。明治維新より前ですよ!)のナイロビ会議です。確か2,000人以上が参加した大きな会議でした。それ以来、ずっとITUと付き合っていて、2012年からはその1つの部会の議長をやっています。アフリカのフランス語圏からの参加者もたくさんいるので、フランス語はとても役に立っています。

さて、国際会議というと、皆さん方はどのようなイメージを持ちますか?国際会議には、国連に代表される国際機関の会議や国際学会など様々な種類があります。そして、勝ち負けを競うディベートとは違って、国際会議では必ずなんらかの結論を出す必要があります。それを実現させるための細かい議事規則が決まっています。議事規則をよく知っていると、議論に勝てたりします。使われる英語のレベルはそれほど高くありませんが、会議独特の言い方があります。それらを事前知って慣れておくと、会議へ参加するのにとても役に立ちますので、キャリアガイダンスでは、国際会議の英語や発言の仕方を具体的にお話ししました。

最後に、グローバルで活躍するためのヒントをお話ししたいと思います。次のようなことですが、人が社会で生きていく上で当たり前の常識を心得ていればよい、ということになりますね。

- ・異文化、多様性への理解：この世の中はいろいろなことでできているということ。
- ・自分の考えを声に出して伝える能力：黙っていても伝わらないということ。
- ・論理的思考の強化：情緒より論理に重きを置いたほうが強いということ。
- ・社交の場で使う話題の準備：この話題ならどんな話でもできるというものを作っておくこと。

日本人は、忍耐強くて、穏やかに話をまとめる力があると感じています。自分が議論をリードして最終文書がまとまると、ヤッター、と思います。皆さん方も国際会議という面白い世界に興味を持っていただけるとうれしいです。

キャリアガイダンスで、新宿高校にはまだ第2外国語の授業があることがわかって、とてもうれしかったです。ぜひ新宿高校から世界に羽ばたいてください。

この「先輩方の言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力、毎号卒業生からご寄稿をいただいています。社会で活躍される皆さんの先輩方の貴重なメッセージです。

進路を考えるときに、ぜひ参考にしてください!